

Feeling excited

“Dance with Heart”  
We are burning with enthusiasm  
in creating national art for the new era.  
The Kikunokai Dance Troupe  
Representative : Satoshi Hata

# 日本のおどり

発行：舞踊集団 菊の会  
〒161-0031  
東京都新宿区西落合 2-21-23  
03-5983-6001 (代表)

菊の会 京都八瀬研修所  
〒601-1254  
京都市左京区八瀬野瀬町 10  
075-712-8701 (代表)

<http://www.kikunokai.co.jp>

Dancing from the heart

## ご挨拶

時下益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。

昨年、創立者畑道代が一つの目標としていた創立四十周年を舞踊劇「阿国かぶき」を中心に年間を通じて記念公演として各地で開催させて頂き、沢山のお客様にご来場頂きました。ここに厚く御礼申し上げます。

本年は、次なる五十周年を目指してまさしく新生菊の会が本当の意味での出発の年となりました。

私自身が初心に帰り菊の会一同更なる精進を期していく事を決意している次第でございます。

皆様方におかれましては、これからも変わらぬご指導・ご鞭撻を賜ります様、心よりお願い申し上げます。

舞踊集団 菊の会

代表 畑 聡



舞踊劇「阿国かぶき」

## 舞踊集団「菊の会」の皆様へ



京都市長 門川 大作

本年は巳年。へビは脱皮を繰り返しながら成長することから、再生やたゆみない前進を象徴する年とされています。皆様にとつてこの一年が、これまでの輝かしい伝統の上に新しい創造を生み出される、飛躍の年になりますことをお祈り申し上げます。

貴会におかれましては、昭和四十七年に、故畑道代先生を中心に創立されて以来、飽くなき探究心と溢れんばかりの情熱で、その道を真摯に追求してこられました。昨年は創立四十周年の記念すべき節目を迎えられ、新たな一歩を踏み出されたところとす。

また、日本のおどりが幅広く芸術として親しまれるようにと、海外での公演活動にも精力的に取り組まれており、これまでに五十箇国、九十都市以上で公演を重ねておられます。舞踊の魅力と共に京都の文化の素晴らしさと、奥深さを国内外に発信して

おられる畑聡代表をはじめ貴会の皆様に、改めて深く敬意と感謝の意を表します。

京都には、皆様の舞踊をはじめ、能、狂言、茶道、華道など、長い歴史の中で培われてきた我が国を代表する多彩な文化芸術が息づいています。また、そうした文化芸術が互いに刺激し合いながら、たゆみなく新たな創造を生み出し続けている「日本の文化芸術の源流」ともいうべきところとす。

私といたしましても、皆様の御活動に力をいただきながら、この京都の文化芸術を一層磨き上げ、世界に向けて積極的に発信してまいります。引き続き、皆様の御支援、御協力をお願い申し上げます。

結びに、舞踊集団「菊の会」のますますの御発展、並びに会員の皆様の御健康、御多幸を祈念いたします。



# け、今、船出の時!



## 「阿国かぶきよみがえる」

実践女子大学教授  
田中英機

初演の阿国をつとめた畑道代さんは、艶のあるなやかな姿態のなかに、芯のあるたくましい、そして実に人間的な阿国像をくっきりと描き出した。まるで歌舞伎草子のなかから抜け出してきて、いま目の前に阿国が立っているような鮮やかな印象を手にして。

では繰り返し合わさってひとつになり、阿国の人物像をしかと存在させ、観客をうっとりさせたものである。このたびのタイトル・ロール青木有子さんは熱演であった。師承の芸が生かされた好演は見えて爽やかだった。脇を固めたアンサンブルもクロス役割をよく果して舞台成果を挙げた。折反「阿国」かぶき



た。そうなんだ、畑道代という役を生きればいいんだ、と改めて間違いに気づかされた。舞台で山三役を菊の会

## 「いざやかぶかん」

石川県立音楽堂  
邦楽プロデューサー  
児玉 信



阿国役の青木有子と山三役の武井則男

平成二十四年秋の菊の会の稽古場、夢から眼醒めた畑道代の耳に、遠々に阿国と山三の声が聞える…。〈創立四十周年記念公演『阿国かぶき』のパンフレット、筋書きの終章に記された言葉です。私にとっても、平成六年の初演にあたって演出補を担当させていただいた思い出の舞踊劇、久しぶりに舞台上に接して、懐かしさが先に立ちました。

今回の舞台の、何といっても大きな変化は、阿国と山三の配役が一新されたということだ。阿国の生誕四百年を迎えた平成十五年、私は畑道代先生からお手紙を頂戴しました。再演を考えているとした上で、「阿国はもう二代目ではないか」と思っています。常に見据えておられた先生の思いがようやく実ったのだと、感慨新たでした。こんなことをいうと叱られそうですが、阿国が若返って、山三はじめ阿国一座の人々が等身大に感じられたのが収穫でした。先生の存在があまりに大きかったので、先生亡きあとの『阿国かぶき』の序幕・終幕は書き換えた方がいいのでは、と思ってもいました。それは杞憂に終わりました。



のメンバーが勤められるようになったことも、四十年の積み重ね、成熟の証と想います。若手のセリフが格段に上手くなっています。ベテランのセリフはタメが効いて、味わいを漂わせました。『阿国かぶき』の第十景で、阿国と山三は新天地を求めて羽ばたいて行きます。新しい年を迎えた菊の会の行方が重なります。畑道代の下で新しい作品が生まれることを期待しています。







# 「畑道代さんの掌中の珠 輝き続ける未来へ」

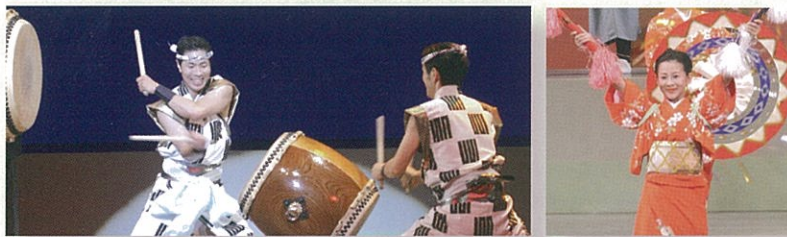
舞踊評論家  
谷村 陽介

比叡山の麓、山狭の静寂な丘陵に建つ、八瀬研修所をはじめ訪ね、その閑静な趣きや、周辺の景色の美しさに、見惚れてしまった。  
畑道代さんの魂をこめた一念が、この家屋の隅々にまで拡がっている。  
菊の会の出演者たちが、研修所につくられた可愛い舞台上、活き々と踊りつつけている。その笑顔には輝きがあり、動きには生命の躍動がある。  
この人たちが、畑道代さんの育てた掌中の珠玉なのか、彼女の舞踊への情熱を一身に受けとめ、その意志を脈々と継いでいる弟子たち。道代さんは、宇宙から、きょうもここへやってきて、微笑みながら、きつと舞台を見ていたことであろう。  
菊の会は創立四十年、畑道代さんが、宇宙へ旅発つて三年。



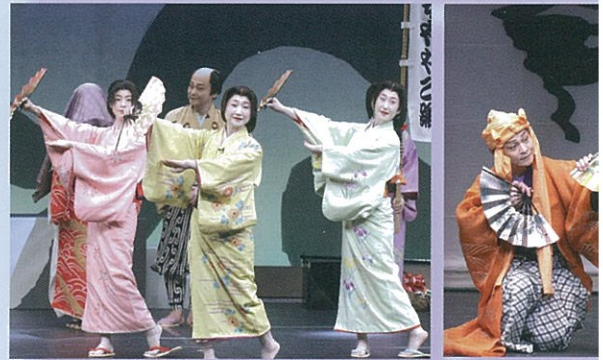
畑聡代表による「寒牡丹」

早いものである。  
菊の会のメンバーは、畑道代さんの遺志を大切に、畑聡さんを中心に、筆舌につくし難い苦勞を、どれほど数多く乗り切ってきたことであろう。  
そのことが、聡さんの『寒牡丹』を見ても、『つき、ゆき、はな』の可笑しみからも、彼女が大切にしてきた『民謡風土記』の躍動美を拜見しても、手に採るように感じられてならないのだ。  
しなやかで、そして厳しかった畑道代さんの一挙手一投足が、現在の代表畑聡さんの信念に投影され、菊の会全員の姿に顕われている、とおもわれてならなかった。  
菊の会は、未来の舞踊を築き上げる、ゆるぎない最高の舞踊集団でありつづけていた。だいたい。



「つき ゆきはな」より

# 創立50周年へ向



「阿

菊の会創立四十周年の記念公演「阿国かぶき」は、いまはなき畑道代師の代表作のひとつで、それがお弟子さんたちの追慕の情熱が結集し、みごとに、新生「阿国かぶき」として蘇った。

阿国の津山で横死を遂げたという伝聞を京童はそのように信じ、それはやがて伝説化した。現代の私たちもそのように受け止めているが、三隅治雄先生の作では、山三は実は生きていた。生きて阿国とともに歌舞伎踊を仕上げるのだ。この趣向の面白さが、この舞台作品の魅力となり、ドラマはそのからはじまる。従前のいくつかの、何人かの演じた阿国像とは異なる阿国が、ぐつとリアルになって観る者に迫ってきた。舞踊家と俳優、身体表現と吐芸、このふたつが畑道代さんの中



このことは誰よりも畑道代師がいちばん喜んでいたのではないか。劇場の帰途に立ち寄った喫茶店で、思いついた。飛びのついでに、四十周年を心から喜びたい。



Wonderful Memories

# 畑道代先生の思い出

The unforgettable days with Hata sensei



俳優・ナレーター  
**堀井 真吾**

【プロフィール】

演出家、松浦竹夫に師事し、俳優修行をした後、青二プロダクションに所属し、現在主に、声優・ナレーターとして活躍。TV番組「とくダネ!」「踊るさんま御殿!」「ホンマでっかTV?!」等のナレーション。朗読劇「物語シアター」を主催。

畑先生と初めてお会いしたのは、十八年前、菊の会本部の応接間でした。次回公演「藍の女」出演に向けての初顔合わせでした。  
目の前のテーブルには、直前に京都南座で初演された「阿国かぶき」のパンフレットが置かれていました。その中から「綾子舞」という文字が目飛び込んできました。それは出雲の阿国が伝えたと言われている、越後の山里に四〇〇年以上前から、伝承されている踊りです。  
その綾子舞の里こそ、私の生まれ育った地域でもあります。聞けば、その村に何度か畑先生自ら足を運ばれたとのこと。そして、畑先生に綾子舞を教えたのは、私が子供の頃からよく知る方だったのです。その時の不思議な感慨は今も忘れられません。  
その後、十年の間に「日本大通り」「追分の女」と再演も含め五回程、畑先生



舞踊劇「藍の女」より  
虎松役の堀井氏とお葉役の畑道代



歌舞劇「追分の女」より  
手島役の堀井氏と花山美也役の畑道代

の相手役を努めさせて頂きました。今思えば、なんと幸運で光栄なことだったでしょう。  
畑先生の芸に対する妥協のない姿勢には、いつも新鮮な感動を覚えました。「畑先生なら、こんな時どうされるのだろうか?」最近、演出をするようになって、ふと、そんな事を考えます。  
一方、舞台をおいた畑先生は、大変に優しい女性でした。その柔らかい物腰と若々しい声音(こわね)が心に蘇って、懐かしい想いで一杯になります。  
先日の「阿国かぶき」の舞台を拝見した折、出演者の皆さんが、畑先生の大きな心に包まれて伸びやかに演じておられるように見えました。  
畑先生の芸と心は、畑聡新代表をはじめ、菊の会メンバーの皆さんの中に、しっかりと受け継がれていると確信しました。  
創立四十周年の山を越えた菊の会の、今後の益々の御発展を御祈り申し上げます。



## 「次代を担うこどもの文化芸術体験」 小中学校の生徒さん笑顔いっぱいの奮闘公演

舞踊集団 菊の会では、文化庁事業「次代を担うこどもの文化芸術体験事業」に21年度から採択され、全国の小中学校で学校公演を行って参りました。南は熊本、大分、長崎、鹿児島、沖縄と北は北海道、青森、宮城、秋田、そして24年度は下記の通りの学校で実施しました。

大勢の生徒さんやご父兄の皆様日本の伝統芸能をより身近に感じて頂く事が出来ました。

【学校公演一覧表】

|           |     |                    |
|-----------|-----|--------------------|
| 11月14日(水) | 愛媛県 | 松山市立立岩小学校          |
| 11月15日(木) | 高知県 | 土佐清水市立下川口中学校       |
| 11月16日(金) | 高知県 | 土佐市立宇佐小学校          |
| 12月5日(水)  | 兵庫県 | 南あわじ市立市小学校         |
| 12月6日(木)  | 兵庫県 | 姫路市立高岡小学校          |
| 12月7日(金)  | 兵庫県 | 三木市立中吉川小学校         |
| 12月10日(月) | 徳島県 | 板町立神宅小学校           |
| 12月11日(火) | 香川県 | まんのう町立四条小学校        |
| 12月12日(水) | 香川県 | 観音寺市立柞田小学校         |
| 12月13日(木) | 愛媛県 | 四国中央市立三島東中学校       |
| 12月14日(金) | 香川県 | 高松市立国分寺南部小学校       |
| 12月17日(月) | 香川県 | 小豆島町立安田小学校         |
| 12月18日(火) | 香川県 | 高松市立中央小学校          |
| 12月19日(水) | 香川県 | 坂出市香川大学教育学部附属坂出小学校 |
| 12月20日(木) | 兵庫県 | 三田市立学園小学校          |
| 平成25年     |     |                    |
| 1月21日(月)  | 愛媛県 | 砥部町立宮内小学校          |
| 1月22日(火)  | 香川県 | 善通寺市立竜川小学校         |
| 1月23日(水)  | 香川県 | 善通寺市立筆岡小学校         |
| 1月24日(木)  | 徳島県 | 三好市立下名小学校          |

## INFORMATION 菊の会公演予定

【初春に舞う】新春 菊の会アトリエ公演

東京菊の会スタジオ(新宿区)  
1月17日(木) 18:00 開演  
18日(金) 12:00 / 16:00 開演  
19日(土) 12:00 開演  
料金 / 4,200円、全席自由

【新進若手公演】2月公演 菊の会アトリエ公演

東京菊の会スタジオ(新宿区)  
2月22日(金) 18:00 開演  
23日(土) 12:00 / 16:00 開演  
24日(日) 12:00 / 16:00 開演

【早春に舞う】

越谷コミュニティーセンター小ホール(越谷市)  
3月15日(金) 14:30 / 18:30 開演  
料金 / 指定席 6,000円 自由席 5,000円

【陽春に舞う】京都八瀬アトリエ公演

八瀬菊の会研修所(京都八瀬)  
4月6日(土) 11:00 / 15:00 開演  
7日(日) 11:00 / 15:00 開演  
料金 / 4,500円 全席自由

【菊の会友の会懇親パーティー】

ハイアットリージェンシー東京(新宿)  
4月20日(土) 時間未定

※上記の日程は予定ですのでご確認の上御来場下さい。  
お問い合わせ: 菊の会事務局 03-5983-6001